

高木仁三郎市民科学基金 2015年度決算概況

■ 収支計算書

2015/4/1～ 2016/3/31

(単位：円)

【収入】				【支出】			
収入	予算	決算	備考	支出	予算	決算	支出構成
会費収入	5,000,000	4,533,000		助成金・委託研究費	17,000,000	14,200,000	29.8%
寄付収入	25,300,000	13,470,389		助成関係事業費	10,400,000	10,314,046	21.6%
遺贈	0	0		内 人件費	7,400,000	7,548,290	15.8%
原子力市民委員会指定寄付	5,000,000	4,025,712		広報・普及事業費	2,000,000	1,690,520	3.5%
				測定支援事業費	2,000,000	1,740,064	3.6%
支援合計	35,300,000	22,029,101		管理費	7,000,000	6,481,159	13.6%
書籍販売収入	1,000,000	926,090		内 人件費	4,000,000	3,799,991	8.0%
運用収入・雑収入	500,000	2,165,869		原子力市民委員会事業費	15,600,000	13,294,537	27.9%
補助金収入	0	0		内 人件費	5,500,000	5,207,569	10.9%
経常収入計	36,800,000	25,121,060		経常支出計	54,000,000	47,720,326	
				経常収支			
原子力市民委員会引当金取崩額	13,200,000	8,252,409		原子力市民委員会引当金繰入支出	5,000,000	0	
特別助成事業引当金取崩額	9,000,000	9,000,000		特別助成事業引当金繰入支出	0	0	
収入合計	59,000,000	42,373,469		支出合計	59,000,000	47,720,326	
				当期収支差額	0	-5,346,857	

■ 貸借対照表

基準日 2016/3/31

(単位：円)

【資産】				【負債】			
流動資産	期初	期末	備考	流動負債	期初	期末	備考
現金	152,890	201,876		未払助成金	12,540,000	10,550,000	
普通預金/東京三菱	12,565,408	7,099,152		未払金・仮受金	138,998	785,740	
普通預金/基金口	31,063,133	31,845,341		源泉税預り金	53,222	61,077	
普通預金/りそな	7,246	120,507		事業引当金	12,732,220	11,396,817	
郵便振替	53,245	2,075,187		長期事業引当金	47,452,409	39,299,685	
郵便振替 2	181,920	4,693,629		特別助成事業引当金	18,000,000	9,000,000	
郵便振替 3	558,066	1,026,446		負債合計	78,184,629	59,696,502	
城南信金	45,097,757	39,200,000		【正味財産】			
国債	20,000,000	0		正味財産	期初	期末	備考
貯蔵品	674,257	1,176,737		前期末正味財産	33,168,480	33,168,480	
仮払金	401,765	0		当期正味財産増減額		-5,346,857	
未収入金	597,422	79,250		正味財産合計	33,168,480	27,821,623	
資産合計	111,353,109	87,518,125		負債・正味財産合計	111,353,109	87,518,125	

■ 支援者数

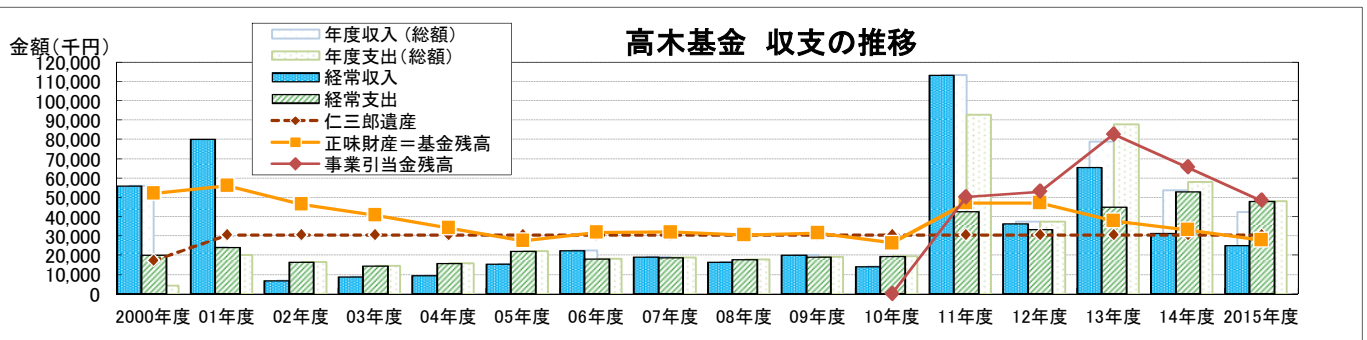
基準日 2016/3/31

■ 設立時からの累計

2015年度まで (単位：円)

支援者数(人)	昨年度	速報	目標
会員	534人	501人	625人
寄付者	120人	312人	275人
支援者数合計	673人	813人	900人

収入	536,205,862	
内 会費・寄付・市民研究サポート	427,588,181	14.0倍
内 高木仁三郎遺産	30,483,833	
内 受取利息・雑収入など	24,333,848	
内 事業引当金取崩収入	53,800,000	
支出	508,384,239	支出構成
内 助成金・委託研究費	189,698,320	46.7%
内 助成関係費・広報・普及活動費	129,130,474	31.8%
内 管理費	87,555,445	21.5%
内 事業引当金繰入支出	102,000,000	
基金残高	27,821,623	



高木仁三郎市民科学基金 2015年度 助成金・委託研究費明細 (兼 未払助成金明細)

金額単位:円

受付番号	テーマ	助成申込者名 または代表者名	グループ名	助成金額	2016年3月末 未払助成金	備考
【前年度から継続の個別対応として助成】				小計	3,000,000	0
139-001	たらちねβ線放射能測定プロジェクト	織田 好隆さん	いわき放射能市民測定室 たらちね	3,000,000	0	特別助成
【国内枠 調査研究助成 新規・一般応募】				小計	5,000,000	5,000,000
151-007	北海道の原発と地層処分問題の科学的検討	斉藤 海三郎さん	行動する市民科学者の会・ 北海道	600,000	600,000	特別助成
151-008	オフグリッドエアサンプラーの開発、オートラジオグラフィによるフィルター検査方法の確立と東北支援	大木 和彦さん	放射能市民測定室・九州	450,000	450,000	特別助成
151-012	福島県大玉村における水田の放射能遮蔽効果の測定と、休耕田の実験的利活用の実践	林 剛平さん	OPT (Ootama village Paddy field Tensegrity)	300,000	300,000	特別助成
151-014	原発被災者生活再建のための政策研究	藤原 遥さん		300,000	300,000	特別助成
151-016	オリンピックの開催で開発が予定されている神奈川県返子市小坪大崎の藻場およびそこに生息する動植物の調査	大久保 奈弥さん		500,000	500,000	
151-021	政府の行う福島原発事故に関連する調査研究委託の成果物の分析・評価	三木 由希子さん	情報公開クリアリングハウス	400,000	400,000	特別助成
151-024	米国政府・政界・学界等における原子力エネルギー政策の分析:連携の可能性を求めて	猿田 佐世さん	新外交イニシアティブ	800,000	800,000	特別助成
151-034	宮田村の低レベル放射性廃棄物を含む処分場の建設計画による地域環境社会への影響の研究	岸 真結子さん	駒ヶ根の環境を守る会	400,000	400,000	特別助成
151-037	Naシンチレーターによる土壤中放射性セシウム濃度測定精度向上と検証のための取り組み ~市民放射能測定所の連携強化を目指して	石丸 偉丈さん	みんなのデータサイト	600,000	600,000	特別助成
151-039	日本の官民による「回廊開発」がモザンビーク小農の暮らしに及ぼす影響に関する研究-小農主体の調査・政策提言を目指して	大林 稔さん	モザンビーク開発を考える市民グループ	650,000	650,000	
【国内枠 調査研究助成 継続応募】				小計	4,000,000	4,000,000
156-001	上関原発予定地周辺海域における希少海鳥の生態およびエサ資源調査	高島 美登里さん	上関の自然を守る会	400,000	400,000	特別助成
156-002	地域環境における有害性VOC発生源と分布の探求-続き	森上 展安さん	化学物質による大気汚染から健康を守る会	400,000	400,000	
156-004	福島第一原子力発電所の事故原因と推移過程の詳細検討および原発の安全性に関する規制基準の日報米の比較調査	田中 三彦さん	もっかい事故調	500,000	500,000	特別助成
156-005	高レベル放射性廃棄物処分場選定手続きにおける社会的合意形成手法と安全性確認に関する研究<その2>	澤井 正子さん	原子力資料情報室	400,000	400,000	特別助成
156-006	福島原発事故に伴う生活環境の放射能汚染実態調査と住民の被ばく最小化	青木 一政さん	福島老朽原発を考える会 (フクロウの会)	500,000	500,000	特別助成
156-007	福島原発事故の健康被害に関する相談窓口および被ばく影響情報プラットフォームの立ち上げ	満田 夏花さん	FoE Japan	500,000	500,000	特別助成
156-008	原子力規制行政の市民による検証	阪上 武さん	原子力規制を監視する市民の会	400,000	400,000	特別助成
156-009	沖縄県沖縄市泡瀬干潟のサンゴ群落調査 (移植サンゴを含む)	前川 盛治さん	泡瀬干潟を守る連絡会	500,000	500,000	
156-011	電力小売全面自由化にむけて ~地域再エネ電力会社の状況調査と情報共有	吉田 明子さん	パワースhift・キャンペーン 運営委員会	400,000	400,000	
【アジアの個人・グループへの調査研究助成】				小計	1,800,000	800,000
153-001	ナムホン川流域の市民の声【ミャンマー】	Mong Pan Youth Association ナン・シンニングさん		400,000	200,000	
153-004	インドネシア東ジャワ州シダルジョ県におけるラビド泥水噴出事故による、ボロン川およびアロー川流域の水界生態系・井戸・養殖池・水田への影響調査【インドネシア】	Wahana Lingkungan Hidup Indonesia Jawa Timur (WALHI-JATIM) ファニー・トリジャンボレ・クリスティアーノさん		500,000	250,000	
153-006	ネパールのテライ地域における石綿調査と注意喚起【ネパール】	Center for Public Health and Environmental Development (CEPHED) ラム・チャリトラ・サーさん		500,000	150,000	
153-012	フィリピン南部ミンダナオ島ブキドノン州マノロ・フォルテッチにあるパイナップルの大規模プランテーション農場が環境に与える影響の予備評価【フィリピン】	Advocates of Science and Technology for the People (AGHAM) マリナー・フィネッサ・コシコさん		400,000	200,000	
【アジアの個人への研修奨励】				小計	400,000	200,000
154-001	天然資源の管理に関する先住民の権利を研究するための法学修士課程【タイ】	ラオファン・ブンディテルサクルさん		400,000	200,000	
助成金合計				14,200,000	10,000,000	
				※特別助成小計		9,550,000
【過年度分未払い助成金】					550,000	
133-008	フィリピン北スリガオ州クラベル町におけるタガニート鉱山高圧酸浸出(HPAL法)による採掘の環境・社会・経済影響評価【フィリピン】		Caraga Watch (フィリピン)	2013年度支出	250,000	
143-005	福島原発事故をインドの地図にあてはめる ——惨事と結果の意味を問う	Kumar, Sundaram Pathak 【インド】		300,000	150,000	特別助成
143-006	ベトナム国ホイアン市のトゥボン川と井戸の水質の調査	U Café HoiAn Project 【ベトナム】		300,000	150,000	
【今年度清算した未払い助成金の明細】					650,000	
93019	イロイロ市カラファン山の廃棄物処分場における環境・健康リスク調査【フィリピン】	ノーマン・デキーナさん	イロイロ市貧困者の会 (KAISOG)	2009年度支出	150,000	2015/11/10 理事会で 清算を承認
93026	日本とインドネシアの比較研究:原発の意思決定に参加する市民の権利に関する調査 【インドネシア】	ディアン・アブラハムさん	インドネシア反核市民連合 (MANUSIA)	2009年度支出	100,000	
113-017	アジア各国の原子力輸入・輸出の現状調査:誰がどのように危険を輸出するのか? 【韓国】	イ・ホンソクさん	エネルギー正義行動 (韓国)	2011年度支出	400,000	
【委託研究費】				小計	0	0
該当なし						
委託研究費合計					0	0

2015年度 事業報告書

(2015年4月1日から2016年3月31日まで)

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

1 事業の成果

○事業概要

第13期助成先(2014年度実施分)の調査研究・研修の成果発表会を実施した。
 第14期助成先(2015年度実施分)については、その調査研究・研修活動の支援を行った。
 第15期助成の公募・選考を行い、国内の助成枠として19件、900万円、アジア枠として5件、220万円、合計24件、1120万円の助成を決定した。この他に国内枠の緊急対応の助成として1件300万円の助成を実施した。
 2013年度に高木基金の特別事業として立ち上げた原子力市民委員会では、引きつづき2014年4月に発表した「脱原子力政策大綱」の普及に努めるとともに、2015年6月に「年次報告2015」を発表した。
 これらの活動を「高木基金だより」とウェブサイト、SNSなどを通じて報告するとともに、研究の成果や市民科学のあり方などについての広報・普及活動を行った。

○事業経過

2015年 6月 8日 原子力市民委員会が「年次報告2015」を発表
 2015年 6月29日 2015年度総会開催
 2015年 7月18日 第13期助成の成果発表会を開催 <東京・YMCAアジア青少年センター 国際ホールにて>
 2015年 9月 1日 高木基金だより No. 37 発行 <約3,500通>
 2015年 9月13日 助成募集(アジア枠調査研究・研修奨励) 〆切
 2015年11月15日 高木基金だより No. 38 発行 <約3,500通>
 2015年12月10日 助成募集(国内枠調査研究・研修奨励) 〆切
 2016年 1月31日 選考委員会(国内枠)開催
 2016年 3月 9日 第15期助成の公開プレゼンテーションを開催<東京・YMCAアジア青少年センター 国際ホールにて>
 2016年 3月25日 高木基金だより No. 39 発行 <約3,500通>

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者	受益対象者の範囲及び人数	支出額	
(1) 市民の科学を目指す日本国内及びアジアの個人・グループの研究・研修への助成	国内の個人・グループへの調査研究助成	2015/4/1~2016/3/31	主に国内	(1)-(3)あわせて9名	主に国内の個人・グループ	17団体・3個人	市民科学をめざす個人・グループへの調査研究助成金	12,000,000円
	アジアの個人・グループへの調査研究助成	2015/4/1~2016/3/31	主にアジア		アジアの個人・グループ	4団体・1個人	市民科学をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成金	2,200,000円
	募集告知、助成先選考、助成研究・研修の成果発表	2015/4/1~2016/3/31	主に国内		国内及びアジア	応募数 68件(個人・団体)	人件費、旅費交通費・謝礼他	10,314,046円
(2) 市民科学の理念及び研究成果の普及	支援者及び一般への研究成果の普及・活動状況等の広報としての「高木基金だより」の発行	No. 35 2014/ 8/20 No. 36 2014/11/25	国内		高木基金の支援者及び一般	各3,500名(発行部数)	印刷費・通信費	1,666,568円
	助成先等の報告会・研究会及びセミナー等の開催	2014/7/6 他	都内		一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	旅費交通費他	23,952円
(3) 市民科学を目指す実践的な活動への助成	原子力市民委員会事業	2015/4/1~2016/3/31	主に国内		一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	原子力市民委員会事業費	11,988,390円
	放射能測定支援事業	2015/4/1~2016/3/31	主に国内		一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	測定支援事業費	1,740,064円
(4) 自然エネルギー利用および省エネルギーの研究および普及活動への助成	今年度は実施せず							

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者	受益対象者の範囲及び人数	支出額	
(1) バザー等の物品販売事業	原子力市民委員会の書籍販売	2015/4/1~2016/3/31	国内	他事業との兼任	一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	原子力市民委員会事業費	1,206,462円

2015年度 活動計算書

2015年 4月 1日 から 2016年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	特定非営利活動に 係る事業	収益事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	360,000		360,000
維持会員受取会費	3,270,000		3,270,000
賛助会員受取会費	903,000		903,000
2 受取寄附金			
寄付金 (事業指定寄付・遺贈寄付を除く)	13,470,389		13,470,389
事業指定	4,025,712		4,025,712
遺贈寄付	0		0
3 受取助成金等			
受取助成金	0		0
4 事業収益			
事業収益	0	926,090	926,090
5 その他収益			
受取利息	1,341,532		1,341,532
雑収入	824,337		824,337
引当金取崩収入	17,252,409		17,252,409
経常収益計	41,447,379	926,090	42,373,469
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	12,810,834		12,810,834
法定福利費	995,690		995,690
人件費計	13,806,524	0	13,806,524
(2) その他経費			0
助成金・委託研究費	14,200,000	0	14,200,000
消耗品費	505,642	49,899	555,541
通信運搬費	1,726,200	96,961	1,823,161
印刷費	1,059,001	399,054	1,458,055
旅費交通費	5,968,840	0	5,968,840
外部委託費	1,775,559	0	1,775,559
会議費	463,440	0	463,440
支払手数料	181,250	0	181,250
図書教育費	130,163	0	130,163
書籍仕入れ	0	590,548	590,548
謝礼	45,000	0	45,000
租税公課	0	0	0
諸会費	10,800	0	10,800
雑費	60,601	0	60,601
事業引当金繰入支出	99,685	0	99,685
その他経費計	26,226,181	1,136,462	27,362,643
事業費計	40,032,705	1,136,462	41,169,167
2 管理費			0
(1) 人件費			0
給料手当	3,502,577		3,502,577
法定福利費	297,414		297,414
人件費計	3,799,991	0	3,799,991
(2) その他経費			0
消耗品費	334,725		334,725
賃借料	288,780		288,780
通信運搬費	247,478		247,478
支払家賃	480,000		480,000
水道光熱費	18,837		18,837
印刷費	332,628		332,628
旅費交通費	77,261		77,261
外部委託費	30,000		30,000
会議費	25,589		25,589
支払手数料	655,756		655,756
図書教育費	4,968		4,968
備品購入費	84,660		84,660
租税公課	3,600		3,600
諸会費	10,000		10,000
雑費	86,886		86,886
その他経費計	2,681,168	0	2,681,168
管理費計	6,481,159	0	6,481,159
経常費用計	46,513,864	1,136,462	47,650,326
当期経常増減額	-5,066,485	-210,372	-5,276,857
税引前当期正味財産増減額	-5,066,485	-210,372	-5,276,857
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	70,000
当期正味財産増減額	-5,066,485	-280,372	-5,346,857
前期繰越正味財産額	33,168,480	0	33,168,480
次期繰越正味財産額	28,101,995	0	27,821,623

高木仁三郎市民科学基金 事業別損益の状況

2015年度通期（2015年4月1日から2016年3月31日）

(単位：円)

科目	助成事業	助成事業の内 特別助成事業	助成事業の内 特別助成事業以外	CCNE事業	CCNE事業の内 収益事業	CCNE事業の内 収益事業以外	放射能測定 支援事業	普及事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益											
1. 受取会費	4,533,000		4,533,000	0					4,533,000		4,533,000
2. 受取寄附金	13,470,389		13,470,389	4,025,712		4,025,712			17,496,101		17,496,101
3. 受取助成金等			0	0					0		0
4. 事業収益			0	926,090	926,090				926,090		926,090
5. その他収益	675,300		675,300	90,326		90,326	8,900		774,526	1,391,343	2,165,869
6. 引当金取崩収入	9,000,000	9,000,000	0	8,252,409		8,252,409			17,252,409		17,252,409
事業部門間調整	0								0		0
経常収益計	27,678,689	9,000,000	18,678,689	13,294,537	926,090	12,368,447	8,900	0	40,982,126	1,391,343	42,373,469
II 経常費用											
(1) 人件費											
給料手当	6,811,221		6,811,221	4,948,948		4,948,948	1,050,665		12,810,834	3,502,577	16,313,411
法定福利費	737,069		737,069	258,621	0	258,621	0		995,690	297,414	1,293,104
人件費計	7,548,290		7,548,290	5,207,569	0	5,207,569	1,050,665	0	13,806,524	3,799,991	17,606,515
(2) その他経費											
助成金・委託研究費	14,200,000	9,550,000	4,650,000	0					14,200,000	0	14,200,000
消耗品費	128,419	0	128,419	414,802	49,899	364,903	11,780	540	555,541	334,725	890,266
賃借料	0	0	0	0					0	288,780	288,780
通信運搬費	234,742	0	234,742	459,423	96,961	362,462	7,857	1,121,139	1,823,161	247,478	2,070,639
支払家賃	0	0	0	0					0	480,000	480,000
水道光熱費	0	0	0	0					0	18,837	18,837
印刷費	88,657	0	88,657	399,054	399,054		424,915	545,429	1,458,055	332,628	1,790,683
旅費交通費	1,408,554	0	1,408,554	4,337,667		4,337,667	199,639	22,980	5,968,840	77,261	6,046,101
外部委託費	488,528	0	488,528	1,287,031		1,287,031			1,775,559	30,000	1,805,559
会議費	125,355	0	125,355	294,673		294,673	43,412		463,440	25,589	489,029
支払手数料	116,080	0	116,080	63,442		63,442	1,296	432	181,250	655,756	837,006
図書教育費	113,120	0	113,120	16,543		16,543	500		130,163	4,968	135,131
備品購入費	0	0	0	0					0	84,660	84,660
修繕費	0	0	0	0					0	0	0
書籍仕入れ	0	0	0	590,548	590,548				590,548		590,548
謝礼	0	0	0	45,000		45,000			45,000		45,000
接待交際費	0	0	0	0					0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0					0	0	0
租税公課	0	0	0	70,000	70,000				70,000	3,600	73,600
諸会費	10,800	0	10,800	0					10,800	10,000	20,800
雑費	51,501	0	51,501	9,100		9,100			60,601	86,886	147,487
事業引当金繰入支出	0	0	0	99,685					99,685		99,685
その他経費計	16,965,756	9,550,000	7,415,756	8,086,968	1,206,462	6,780,821	689,399	1,690,520	27,432,643	2,681,168	30,113,811
経常費用計	24,514,046	9,550,000	14,964,046	13,294,537	1,206,462	11,988,390	1,740,064	1,690,520	41,239,167	6,481,159	47,720,326
当期経常増減額	3,164,643	-550,000	3,714,643	0	-280,372	380,057	-1,731,164	-1,690,520	-257,041	-5,089,816	-5,346,857

2015年度（特定非営利活動に係る事業）財産目録

2016年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額 （単位：円）		
I 資産の部				
1 流動資産	現金	201,876		
	普通預金	三菱東京UFJ	7,099,152	
		三菱東京UFJ（基金口）	22,745,656	
		りそな銀行	120,507	
	郵便振替	00140-6-603393	2,075,187	
		00160-4-758972	4,693,629	
		00170-0-695728	1,026,446	
	貯蔵品	販売用書籍	1,176,737	
	未収入金	Paypal 寄付未入金分 4件	17,000	
		GiveOne 寄付未入金分 3件	7,650	
	仮払金	職員住民税立替分	54,600	
	流動資産合計			39,218,440
	2 固定資産	原子力市民委員会事業引当資産		
		普通預金	三菱東京UFJ（基金口）	99,685
普通預金		城南信用金庫	9,200,000	
定期預金		城南信用金庫	30,000,000	
特別助成事業引当資産				
	普通預金	三菱東京UFJ（基金口）	9,000,000	
固定資産合計			48,299,685	
資産合計			87,518,125	
II 負債の部				
1 流動負債	未払金	第15期助成金 未払分	10,000,000	
		過年度助成金 未払分	550,000	
		その他未払費用	783,040	
	預り金	預かり書籍販売代金	2,700	
		源泉所得税	61,077	
流動負債合計			11,396,817	
2 固定負債	なし			
固定負債合計			0	
負債合計			11,396,817	
III 正味財産の部				
	正味財産	27,821,623		
	長期事業引当金	39,299,685		
	特別助成事業引当金	9,000,000		
			76,121,308	
正味財産及び負債の合計			87,518,125	

2015年度（特定非営利活動に係る事業）貸借対照表

2016年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額 (単位：円)	
I 資産の部			
1	流動資産	現金	201,876
		普通預金 三菱東京UFJ	7,099,152
		三菱東京UFJ (基金口)	22,745,656
		りそな銀行	120,507
		郵便振替 00140-6-603393	2,075,187
		00160-4-758972	4,693,629
		00170-0-695728	1,026,446
		貯蔵品 販売用書籍	1,176,737
		未収入金 Paypal 寄付未入金分 4件	17,000
		GiveOne 寄付未入金分 3件	7,650
		仮払金 職員住民税立替分	54,600
	流動資産合計		39,218,440
2	固定資産	原子力市民委員会事業引当資産	
		普通預金 三菱東京UFJ (基金口)	99,685
		普通預金 城南信用金庫	9,200,000
		定期預金 城南信用金庫	30,000,000
		特別助成事業引当資産	
		普通預金 三菱東京UFJ (基金口)	9,000,000
	固定資産合計		48,299,685
	資産合計		87,518,125
II 負債の部			
1	流動負債	未払金 第15期助成金 未払分	10,000,000
		過年度助成金 未払分	550,000
		その他未払費用	783,040
		預り金 預かり書籍販売代金	2,700
		源泉所得税	61,077
	流動負債合計		11,396,817
2	固定負債	なし	
	固定負債合計		0
	負債合計		11,396,817
III 正味財産の部			
		前期正味財産	33,168,480
		当期正味財産増減額	-5,346,857
		長期事業引当金	39,299,685
		特別助成事業引当金	9,000,000
	正味財産合計		76,121,308
	正味財産及び負債の合計		87,518,125

2015年度（その他の事業）財産目録

2016年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
資産	0	
資産合計		0
II 負債の部		
負債	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

2015年度（その他の事業）貸借対照表

2016年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
資産	0	
資産合計		0
II 負債の部		
負債	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
前記繰越正味財産	0	
当期正味財産増減額	0	
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

2016年 5月 12日

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
代表理事 河合 弘之 殿

会 計 監 査 報 告 書

当法人の2015年度（2015年4月1日から2016年3月31日）の会計について、
財産目録、貸借対照表、活動計算書、総勘定元帳等を精査した結果、適正な
ものであることを認めます。

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

監事 堺 信幸

監事 中下 裕子

1. 2015 年度事業報告および決算報告

(1) 国内枠助成

- ・2015 年度は、第 15 期(2016 年度)の助成として、調査研究助成 900 万円の予算で募集を行った。募集にあたっては、過去に助成を受けた回数によって、「新規・一般応募」(予算 500 万円)と「継続応募」(同 400 万円)の分類を設けた。最終的に、「新規・一般応募」10 件、500 万円、「継続応募」9 件、400 万円、あわせて 19 件、900 万円の助成を決定した(明細は p.2 を参照)。
- ・従来の助成募集では、「市民科学者」としての専門性を高め、実践経験を積むことを目的に、国内外の教育・研究機関等での研修等に長期にわたって参加するための旅費、学費、住居費等の滞在費用等を助成する枠組みとして、「研修奨励」枠を設定してきたが、過去の実際の助成選考においても、若い研究者などからの調査研究助成の応募を、「研修奨励」に振り替えるかたちで助成した案件が多かったことをふまえ、今回の募集では、従来の「研修奨励」に該当する応募についても、「市民科学」として取り組むテーマを明確にした上で「調査研究助成」として受け付けることとした。
- ・上記の公募助成の他に、国内枠・アジア枠をあわせて緊急対応が必要な案件に備えて、2015 年度 400 万円の予算枠を設定していたが、この中で、2014 年度に 500 万円の助成申込を受け、200 万円の助成を実施していた、「いわき放射能市民測定室 たらちね」の「β線放射能測定プロジェクト」について、理事会で検討の上、300 万円の助成を決定した。

【第 15 期助成(国内枠)の募集・助成結果】

募集	国内向け調査研究助成(「新規・一般応募」および「継続応募」) …… 2015 年 11 月 1 日～12 月 10 日				
応募	応募件数	国内合計	52 件	応募総額	3,967 万円
	調査研究(一般応募)		37 件		2,757 万円
	調査研究(継続応募)		11 件		1,210 万円
選考	2016 年 1 月 31 日に選考委員会にて書類選考を実施。書類選考通過者の内個人 3 名への面接を 2 月 22 日と 3 月 5 日に実施。3 月 6 日に YMCA アジア青少年センター国際ホールで国内枠調査研究助成の公開プレゼンテーションを開催し、残る 17 名・グループの発表と質疑応答を行った。終了後の理事会で助成先を内定した。				
助成決定		第 15 期助成		累 計	
	国内向け調査研究助成	19 件	900 万円	229 件	13,172 万円
	国内向け研修奨励		(募集せず)	36 件	1,758 万円
	合計	19 件	900 万円	265 件	14,930 万円

- ・第 13 期(2014 年度)助成先の助成期間が 2015 年 3 月で終了し、調査研究・研修成果のとりまとめを行い、7 月 18 日(土)に成果発表会を行った(参加者約 70 名)。
- ・調査研究・研修の成果報告の概要は、成果発表会の当日資料として配付するとともに、「高木基金だより」に掲載し、ウェブサイトにも掲載した。
- ・助成の成果報告をまとめた「高木基金助成報告集」については、事務局の編集作業が遅れ、2011 年度から発行ができておらず、2015 年度も発行することができなかったが、2016 年度に、2011 年度以降の報告集を発行する。

(2) アジア枠助成

- ・第 15 期助成として、2015 年 8 月 11 日～9 月 13 日に募集(予算 200 万円)を行い、計 15 件(調査研 14 件、研修奨励 1 件)、総額 942.8 万円の応募が寄せられた。選考委員による書類選考を経て、理事会で 5 件 220 万円の助成を決定した(明細は P.2 を参照)。

なお、例年アジア枠助成では、1件あたりの上限額を50万円としていたが、円安傾向の影響から現地通貨による助成額が減少するため、今年度は5,000米ドル（≒65万円）を1件あたりの上限とした。このことも踏まえ、最終的に220万円の助成決定とした。

- ・応募件数は、昨年度がやや落ち込んでいたが、従来の応募件数まで持ち直した。これは募集時期を従来の8月に戻したことにより十分な広報周知期間があったためだと考えられる。応募団体としては、これまでに高木基金への応募・助成実績や日本のNGOとの協力関係にある団体に加え、新しい顔ぶれとなったミャンマーとタイの2件はどちらも乱開発の象徴とされるアジアの国際河川サルウィン川流域で活動しているものであり、また若手研究者の取り組みとしても期待できる案件である。
- ・今回、原発関連の調査研究として採択されるものはなかったが、見送りになった案件の中には、核施設との関連性が考えられるものがあつた。調査手法を見直しの上、今年度以降の再応募も検討してもらうよう促していきたい。

【第15回助成（アジア枠）の募集・助成結果】

募集	調査研究助成・研修奨励 …… 2015年8月11日～9月13日			
応募	応募件数	15件	応募総額	942.8万円
	内 調査研究	14件		884.8万円
	研修奨励	1件		58万円
選考	2015年10月19日～11月3日に選考委員による書類選考を実施。 2015年11月10日の理事会で助成先5件を内定した。			
助成決定		第15回助成		累 計
	アジア向け調査研究助成	4件	180万円	52件 2,245万円
	アジア向け研修奨励	1件	40万円	3件 155万円
	合計	5件	220万円	55件 2,180万円

(3) 委託研究

- ・「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」（略称「柏崎刈羽・科学者の会」）
「柏崎刈羽・科学者の会」は、2007年の新潟県中越沖地震で柏崎刈羽原発が被災した際、政府と東京電力が、十分な事故調査もしないまま柏崎刈羽原発7基すべての再稼働をすすめようとしたことを受け、井野博満氏、石橋克彦氏、田中三彦氏、山口幸夫氏の4名が呼びかけ人となって発足した。その際、高木基金は、委託研究として助成を実施した。2015年度は、委託研究費としての支出は行わなかった。「柏崎刈羽・科学者の会」のメンバーは、引きつづき、原子力市民委員会などで原発に関わる技術的な問題等の検証・分析に取り組んでおり、新潟県の技術委員会での動きを追いながら、ニュースレターの発行などの活動を継続している。高木基金としては、事務局長の菅波完が「柏崎刈羽・科学者の会」の事務局を担当し、「柏崎刈羽・科学者の会」の活動を実質的に支援している。

(4) 放射能測定活動に関わる研究交流事業

- ・2012年3月から、高木基金として、各地で食品などの放射能測定に取り組む助成先（および助成に至らなかった応募者）を対象とした「研究交流会」を継続的に実施し、市民測定所の相互交流や情報交換の機会を提供することに、事業として取り組んできた。
- ・高木基金として、これらの測定支援事業について、2012年度から2014年度まで、公益財団法人日本国際交流センターからの助成（年間320万円×3年＝合計960万円）を受け、この事業のコーディネーター等に事務局の専任スタッフをおいて取り組んできた。この助成は2014年度で基本的に終了したが、放射能測定に関わるブックレット制作については、2015年度に継続して実施することとしており、2015年8月までにブックレットを発行し、各地の市民放射能測定所に配布するなどして活用に努めた。
- ・高木基金の「研究交流会」を通じて構築した市民測定所のネットワークは、高木基金が立ち上げから協力してきた「みんなのデータサイト」に引き継がれている。従来、高木基金も運営団体に加わってきたが、「みんなのデータサイト」としての自立した活動を目

指す段階に至ったことから、高木基金は 2015 年 11 月までで運営団体から抜けることとした。その後、「みんなのデータサイト」は、第 15 期の助成に応募し、助成も決定したことから、高木基金としては、助成先の一つとして、「みんなのデータサイト」を支援していくこととしたい。

(5) 原子力市民委員会

- ・昨年度までの活動を引き継ぐとともに、特に重点的に検討を行う必要がある課題に対して、プロジェクトチームでの検討および情報発信を行った。
具体的には、「福島第一原発事故「後始末」の対案」、「核廃棄物問題」「立地・周辺自治体の財政・経済自立に向けた課題」、「被害者の健康管理・医療保健支援の態勢づくりに向けた課題検討」、「被災地における現状把握のためのヒアリング」、「国際問題（原発輸出・日米原子力協定）」のプロジェクトチームが活動をしている。
- ・政府が進める「原子力発電復活政策」と被災者軽視の切り捨て政策に対する批判と分析として、6月に『年次報告 2015－原子力発電復活政策の現状と今後の展望』を発表した。
- ・「福島事故「後始末」の対案プロジェクトチーム」は、6月に特別レポート『100年以上隔離保管後の「後始末」』を発表し、核廃棄物問題プロジェクトチームは、12月に特別レポート『核廃棄物管理・処分政策のあり方』を発表した。
- ・特別レポート『核廃棄物管理・処分政策のあり方』の発表後、原子力市民委員会と資源エネルギー庁がそれぞれの見解を発表し、参加者たちが議論する「どうしたらいい？ 原発のごみワークショップ 「地層処分」について考えてみる」を開催した。また、事故廃棄物問題についても、各地の市民や議員などに対して、積極的に情報提供を行った。
- ・原発再稼働に対しては、高浜原発および伊方原発の設置変更許可に関する「パブリック・コメント文例」を作成、川内原発再稼働については声明「問題山積のまま見切り発車の川内原発 1 号機再稼働を憂慮する」を発表するなど、批判・分析の活動を行った。
- ・電力システム改革と政府による原子力の保護政策の問題を重要テーマとし、6月に鹿児島島で『原子力発電と再生可能エネルギーのホントの話 ～原発のコストと電力自由化後の日本と鹿児島島の未来を考える～』を開催した。2016 年 3 月には原発ゼロ行程部会の声明「電力自由化における原子力発電の問題点～原発ゼロ電気は選択できるか」を発表し、記者会見・意見交換会を開催した。
- ・技術者・弁護士などを中心とした原子力規制部会では、各地での原発差止訴訟の争点を分析し、弁護士への協力や情報提供を行った。
- ・各地での講演会や記者会見などを通じ、公論形成活動を行った。

(6) 選考委員の一般公募

- ・2007 年度から選考委員の一般公募を実施してきたことが、選考および組織運営の活性化に寄与してきたが、この間、募集定員(毎年 1 名)を上回る公募選考委員を選任してきたこと、公募選考委員の任期終了後に、あらためて理事会から選考委員を委嘱してきたことから、選考委員の多数が公募選考委員(およびその経験者)という状況になってきた。選考委員会の人数自体がやや多くなっているということもふまえ、2015 年度は、選考委員の一般公募は行わなかった。

(7) 会員・組織基盤拡大の取り組み

- ・2015 年度の会員・支援者数の状況は次表の通り。今年度は、東京都への認定 NPO 申請の承認が、従来の国税庁の認定期限であった 4 月末までに間に合わず、5 月 1 日から 10 月 19 日までの間、認定が途切れてしまったことから、この間、支援の呼びかけを控えざるを得ない状況があった。10 月 20 日以降、あらためて支援の呼びかけに力を入れたが、この間の遅れが響き、全体として収入目標に到達しなかった。
- ・支援者数では、会員数は、過去 5 年で最少となったが、寄付者数は、2014 年度を上回った。この中では、原子力市民委員会関係の支援者が増加したことが寄与している。
- ・2015 年度の会費・寄付の金額としては、総額 2,203 万円(予算対比△1,327 万円)となった。予算に対するマイナスは、大口寄付が見込みを大きく下回ったことが要因であり、

一般の方々からのご支援（一人あたり 50 万円未満）の総額は 1,003 万円であり、認定 NPO の期限切れのため、伸び悩んだものの、3・11 以降の高い水準を維持している。

一人あたりの支援金額は、昨年よりは減少したが、従来同等の水準で維持された。

- ・2015 年度の大口寄付は、予算を大きく下回ることとなったが、これは、事業費の拡大を大口寄付の積み上げでカバーするかたちで、予算立案の段階でやや無理をしていたことが影響している。今年度も、相続財産からの 500 万円のご寄付などもあり、貴重な大口のご支援を複数の方からいただいたことを感謝したい。

2011～2015 年度の支援者数の推移

	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	前年度比	備考
正会員	20 人	22 人	22 人	24 人	21 人	△3 人	
維持会員	233 人	260 人	260 人	243 人	236 人	△7 人	
賛助会員	301 人	302 人	285 人	249 人	244 人	△5 人	
会員計	554 人	584 人	567 人	516 人	501 人	△15 人 (△2.9%)	
寄付者	330 人	192 人	415 人	252 人	312 人	+60 人	
支援者総数	884 人	776 人	982 人	768 人	813 人	+45 人 (+5.9%)	
支援者の内訳*							
新規	181 人	98 人	254 人	76 人	106 人	+30 人	
継続	473 人	545 人	566 人	581 人	548 人	△33 人	
復活	230 人	133 人	162 人	111 人	159 人	+48 人	

* 内訳の「継続」は前年度も支援のあった方、「復活」は過去に支援の実績があり、前年度はなかった方。

2012～14 年度の会費・寄付の内訳

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	前年比
支援合計	33,524 千円	59,186 千円	23,713 千円	22,029 千円	△1,684 千円
内 一般の会費・寄付	10,010 千円	11,998 千円	10,807 千円	10,029 千円	△778 千円
[1 人あたり]	[12,889 円]	[12,218 円]	[14,072 円]	[12,427 円]	[△1,645 円]
内 大口の寄付	23,514 千円	47,188 千円	12,906 千円	12,000 千円	△906 千円

1 件で 50 万円以上の寄付を大口の寄付、それ以外を一般の会費・寄付として集計している。

- ・ニューズレター「高木基金だより」については、2015 年度は、3 回（No.37、9 月 1 日発行、No.38、11 月 15 日発行、No.39、3 月 25 日発行）の発行となった。発送部数は、支援者、理解者の拡大に努め、いずれも約 3,500 部となった。

(8) 2014 年度決算について

- ・2015 年度の収入は、前項に記載の通り、大口の一般寄付が予算を大きく下回ったことが響き、会費・寄付収入の合計は予算比△1,327 万円となった。この内、原子力市民委員会への事業指定寄付も予算を 97 万円下回った。
- ・2014 年度より、脱原子力政策大綱（詳細版／普及版）の販売を事業収入として計上することとしているが、今年度は年次報告の売り上げも事業収入に計上している。
- ・引当金取崩収入等を含む総収入は、4,237 万円（予算比△1,663 万円）となった。
- ・支出では、国内枠・アジア枠の助成金として、緊急対応の助成を含め、1,420 万円を支出した。収入予算の大幅な未達成が見込まれたこともあり、国内枠助成の募集金額を予算比 100 万円減額した他、緊急対応の予算の内の 100 万円と委託研究予算 100 万円は未消化となった。
- ・原子力市民委員会の支出は総額で 1,329 万円となり、事業費、人件費とも予算内となった。
- ・測定支援事業等を含む経常支出の合計は 4,772 万円（予算比△1,128 万円）となった。
- ・原子力市民会事業にかかる長期事業引当金については、今年度当初予算の段階で、取崩収入 1,320 万円と繰入支出 500 万円を両建てとしていたが、その後、理事会で検討の上、差引額

- の 820 万円の取崩収入を計上することとした(加えて端数調整のため 52,409 円を取り崩した)。
- ・最終的な収支は△535 万円(予算比△535 万円)となり、年度末の基金残高は 2,782 万円で、高木仁三郎さんの遺産額(3,048 万円)に、割り込んだ状態となってしまった。

2. 2016 年度事業計画及び収支予算

(1) 第 16 期(2017 年度)助成(国内枠およびアジア枠)

国内枠

- ・今年度の国内枠助成については、昨年同様、研修奨励枠での募集は行わず、調査研究助成として一本化して募集することとしたい。募集等のスケジュールは従来と同様とし、11～12 月に募集を行うこととしたい。助成予算としては、2014 年度助成から実施している福島原発事故に関する特別助成を含め、昨年の募集額と同額(昨年予算比△100 万円)の 900 万円の助成予算としたい。
- ・第 14 期(2015 年度)助成の成果発表会を開催する。また、2011 年度から発行が遅れている助成報告集の発行を急ぐ。

アジア枠

- ・今年度のアジア枠助成については、助成額を従来と同様の 200 万円とし、助成時期と募集方法についても、従来と同様に戻すことを検討したい。
- ・アジアの国々で原発を導入する動きに対し、昨年度同様、助成に限定せず、助成応募につながるような情報提供や機会の創出を検討したい。英文での情報発信については、原子力市民委員会との連携も含めて検討したい。

国内枠・アジア枠共通

- ・上記の公募枠とは別に、緊急的な助成の申込に備え、緊急対応の助成予算枠として、100 万円(昨年度比△300 万円)を計上する。

助 成 分 類	2016 年度予算	備 考
国内枠 調査研究助成	900 万円	昨年度△100 万円
アジア枠 調査研究助成・研修奨励	200 万円	昨年度と同額
緊急対応予算枠	100 万円	昨年度△300 万円
合 計	1,200 万円	昨年度△400 万円

(2) 放射能測定活動に関わる研究交流事業

- ・2012～14 年度の取り組みにより、高木基金として、市民放射能測定所相互の交流・情報交換に貢献してきたが、現在では、「みんなのデータサイト」が市民測定所ネットワークの中核となっている。高木基金としては、これらの市民測定所の相互交流の活動に積極的に参加することで、市民による放射能測定にかかわる研究成果の交流、情報交換等に関与していくこととするが、事業費の予算としては特に計上せず、国内枠の助成関係費の中で、他の分野の助成先の支援等の一環として取り組むこととしたい。

(3) 委託研究

- ・福島原発事故の検証、放射能汚染およびそれによる健康被害の問題、あるいは原子力市民委員会が関わる問題等、委託研究として取り組むべき課題は少なくない。テーマに応じて、実施体制等の条件が整ったところで機動的な対応ができるように、委託研究の予備費として 100 万円の予算を計上し、具体化については、理事会で検討することとしたい。

(4) 原子力市民委員会

- ・高木基金の特別事業として立ち上がった「原子力市民委員会」について、今年度も従来からの計画に基づいた助成を実施したい。
- ・原子力市民委員会の活動方針は、原子力市民委員会の運営会議での検討の上、委員会にて決定されるが、7月に「年次報告」を公表、その後、「脱原子力政策大綱」の改訂のための検討を開始する。
- ・すでにプロジェクトチームとして検討が進んでいる「立地・周辺自治体の財政・経済自立に向けた課題」「被害者の健康管理・医療保健支援の態勢づくりに向けた課題検討」「国際問題（原発輸出・日米原子力協定）」などについて、検討結果をまとめた特別レポートの発行を目指す。
- ・これまでと同様、再稼働の動きや福島原発事故被災地での人々の健康影響、事故廃棄物の処理などの差し迫った問題への取り組みのほか、原子力利用に批判的な若手研究者への育成や情報提供にも力を入れたい。

(5) 選考委員の一般公募

- ・2007年度から2014年度まで実施してきた選考委員の一般公募は、選考および組織運営の活性化に寄与してきたが、2015年度は、選考委員の一般公募は見送ることとした。2016年度の対応については、理事会における選考委員の委嘱などの議論を踏まえ、あらためて理事会で検討することとしたい。

(6) 会員・組織基盤の拡大とそのための広報の強化

- ・東日本大震災・福島原発事故が発生した2011年度以降、高木基金に多額の支援が寄せられ、それを活かすかたちで、原子力市民委員会や測定支援事業を含めた積極的な事業展開を行ってきたが、年間の事業収入の中で、大口の寄付に支えられる部分が大きくなってきた。このことは非常にありがたいことでもあるが、大口の寄付は、収入の計画が立てにくいことが難点である。2016年度は、高木基金の法人設立から15周年の節目の年でもあり、継続的に支援して下さる会員や一般の支援者を拡大することに積極的に取り組むこととし、9月頃に15周年の記念イベントを開催する方向で準備したい。これに関わる事業費として50万円を広報普及事業費に織り込んだ。
- ・引き続き、ニュースレター「基金だより」については、助成先の活動状況の紹介など、内容を充実させ、高木基金の活動を広く伝えるツールとして、活用を強化していく。
- ・この間、遺贈や大口寄付の入金が続いたことを受け、これらの事例をわかりやすく紹介する記事を基金だよりNo.38に掲載したところ、その後、遺贈のお申し込みがあり、別途、弁護士事務所に依頼し手続きをすすめた。今後とも、あらたな遺贈や大口寄付獲得を目指す取り組みに力を入れていく。

(7) 2016年度予算

- ・2015年度の予算は、次ページの通り、助成金1,200万円（前年度予算比△400万円）、委託研究費100万円（同±0円）を計上する。
- ・原子力市民委員会については、発足当初に2012～2017年度の資金手当ての見通しを立て、これに基づいて長期事業計画を作成してきたが、2015年度までの収支実績を元に、別表の通り、長期計画を見直した。これにより、2016年度の事業指定寄付の目標は300万円とする（2015年度比△200万円）。長期事業引当金からの取崩収入は、昨年同様の820万円に加え、2015年度の原子力市民委員会の収支が若干のプラスとなったためこれを引当金として繰り越した分の取崩収入を加算している。原子力市民委員会としての事業費は、1,260万円（人件費520万円を含む）を計上した。
- ・2013年度の大口径寄付などにより計上した特別助成事業準備引当金からは、従来からの計画通り、900万円を取り崩すことを織り込み、2016年度をもって終了する。
- ・全体として、大口を含む寄付の獲得により収入総額4,856万円、支出総額4,590万円、2016年度の収支を+266万円とする予算とし、高木仁三郎さんの遺産相当額の正味財産を回復することを目指したい。

2013-15 年度収支実績及び 2016 年度予算

(単位:千円)

		2013 年度 実績	2014 年度 実績	2015 年度 実績	2016 年度 予算	前年実績 対比
収 入	会費収入	5,104	4,761	4,533	6,000	+1,467
	寄付収入	32,084	7,643	13,470	※27,000	+13,530
	遺贈	17,000	5,398	0	0	-
	事業指定寄付	5,023	5,911	4,026	3,000	△1,026
	会費・寄付 小計	59,211	23,713	22,029	30,000	+7,971
	内 一般の会費・寄付	12,022	10,807	10,029	15,000	+4,971
	内 大口の寄付	47,189	12,906	12,000	15,000	+3,000
	書籍販売事業収入		2,837	926	1,000	+74
	利息・雑収入など	934	1,416	2,166	262	△1,904
	経 常 収 入 計	60,124	27,967	25,121	31,262	+6,141
	放射能測定支援事業助成金収入	4,693	3,200	0	0	-
	長期事業引当金取り崩し	13,200	13,200	8,252	8,300	+48
	特別助成事業引当金取り崩し		9,000	9,000	9,000	±0
	収 入 合 計	78,545	53,367	42,373	48,562	+6,189
支 出	助成金	11,550	13,640	14,200	12,000	△2,200
	委託研究費	400	0	0	1,000	+1,000
	助成関係費(国内)	2,337	1,921	2,449	2,500	+81
	助成関係費(アジア)	85	39	347	500	+153
	助成事業人件費		5,327	7,548	7,600	+52
	広報・普及事業費	1,107	1,296	1,691	3,000	+1,309
	管理費	10,880	6,691	6,481	6,700	+239
	内 人件費	8,053	4,000	3,800	3,800	-
	経 常 支 出 計	26,359	28,914	32,716	33,300	+634
	放射能測定支援事業(人件費を含む)	4,682	4,974	1,691	0	△1,741
	原子力市民委員会事業費(同上)	13,766	18,982	13,295	12,600	△1,695
	長期事業引当金繰入支出	16,000	5,000	0	0	-
	特別助成事業引当金繰入支出	27,000	0	0	0	-
	支 出 合 計	87,807	57,870	47,702	45,900	△2,802
収 支 差 額	△9,262	△4,503	△5,347	2,662	+8,009	
年度末正味財産(基金残高)	37,671	33,168	27,822	30,484	+2,662	

以 上

長期事業計画書（原子力市民委員会事業）

単位：円

項目	年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
		実績	1年目：実績	2年目：実績	3年目：実績	4年目：計画	4年目：実績	5年目：計画	6年目：計画	7年目：計画	8年目：計画	9年目：計画	10年目：計画	
収入														
事業引当金取り崩し収入			1,147,591	13,200,000	13,200,000	13,200,000	8,252,409	8,899,685	8,800,000	7,000,000	6,000,000	5,000,000	4,000,000	75,499,685
事業指定寄付	50,000,000		5,018,206	5,397,835	5,000,000	4,025,712	3,000,000	3,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	78,441,753
雑収入(資料代)			529,591	134,343	300,000	90,326								754,260
助成金など					400,000									0
収入計(収益事業以外)	50,000,000	1,147,591	18,747,797	18,732,178	18,900,000	12,368,447	11,899,685	11,800,000	9,000,000	8,000,000	7,000,000	6,000,000	6,000,000	154,695,698
支出														
原子力市民委員会事業費		1,147,591	13,765,659	13,872,727	13,900,000	11,988,390	11,599,685	11,500,000	8,700,000	7,700,000	6,700,000	5,800,000	5,800,000	92,774,052
内 人件費		229,000	2,805,935	6,372,878	5,500,000	5,207,569	5,200,000							19,815,382
内 旅費交通費		883,930	6,818,785	5,360,415	5,500,000	4,337,667	4,500,000							21,900,797
内 委託費			437,500	829,588	1,800,000	158,150								1,425,238
内 会議費		18,616	1,889,232	376,677	300,000	294,673	600,000							3,179,198
内 印刷費			1,695,352	227,373	200,000									1,922,725
内 その他事業費		16,045	118,855	705,796	600,000	1,990,331	1,299,685							44,530,712
														0
支出計(収益事業以外)		1,147,591	13,765,659	13,872,727	13,900,000	11,988,390	11,599,685	11,500,000	8,700,000	7,700,000	6,700,000	5,800,000	5,800,000	92,774,052
単年度収支(収益事業以外)・・・①	50,000,000	0	4,982,138	4,859,451	5,000,000	380,057	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	200,000	61,921,646
収入														
書籍売り上げ				2,837,406	1,000,000	926,090	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	8,563,496
印税収入				993,600	0	0	0							993,600
														0
収入計(収益事業)	0	0	0	3,831,006	1,000,000	926,090	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	9,557,096
支出														
書籍販売原価				5,109,010	1,000,000	1,206,462	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	12,315,472
														0
支出計(収益事業)	0	0	0	5,109,010	1,000,000	1,206,462	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	12,315,472
単年度収支(収益事業)・・・②	0	0	0	-1,278,004	0	-280,372	-200,000	-200,000	-200,000	-200,000	-200,000	-200,000	-200,000	-2,758,376
収入合計(収益事業含む)	50,000,000	1,147,591	18,747,797	22,563,184	19,900,000	13,294,537	12,699,685	12,600,000	9,800,000	8,800,000	7,800,000	6,800,000	6,800,000	164,252,794
支出合計(収益事業含む)	0	1,147,591	13,765,659	18,981,737	14,900,000	13,194,852	12,599,685	12,500,000	9,700,000	8,700,000	7,700,000	6,800,000	6,800,000	105,089,524
単年度収支合計・・・①+②	50,000,000	0	4,982,138	3,581,447	5,000,000	99,685	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	0	59,163,270
高木基金通常会計からの繰入・・・③		4,000,000	11,017,862	1,418,553	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,436,415
事業引当金繰入支出・・・④	50,000,000	4,000,000	16,000,000	5,000,000	5,000,000	99,685	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	0	75,599,685
①+②+③-④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原子力市民委員会事業引当金残高	50,000,000	52,852,409	55,652,409	47,452,409	39,252,409	39,299,685	30,500,000	21,800,000	14,900,000	9,000,000	4,100,000	100,000	100,000	0